

**指定整備記録簿  
(分解整備記録簿)**

点検 良好	レ	交換	×	省略	P
分解	○	修理	△	先送り	N
調整	A	清掃	C	該当無し	/
締付	T	給油 (水)	L		

使用者(依頼者)の氏名または名称および住所  
**記録簿製作所 株式会社**  
**記録簿県記録簿市整備1丁目2-3**

自動車登録番号又は車両番号 ✓  
**記録簿 400 た 6878**  
**車台番号 ✓**  
**S402M-0005523**

点検の結果及び整備の概要

● <b>エンジン・冷却系</b>
レ パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷
レ パワー・ステアリング・オイルの漏れ
レ パワー・ステアリング・オイルの量
レ パワー・ステアリングの取付けの緩み
レ ブレーキ液の量 X
レ クラッチ液の量
レ X ④スパーク・プラグの点火(X) (白金、イリジウムは省略可能)
レ 点火時期
レ ディストリビュータのキャップの状態
レ ハッテリのターミナル部の緩み、損傷、腐食
レ 電気配線の接続部の緩み、損傷
レ 低速、加速の状態
レ 排気ガスの色
レ CO、HCの濃度
レ X ④エア・クリーナ・エレメントの点火(X) (点火、損傷)
レ ②エア・クリーナの油の汚れ及び量
レ 燃料漏れ
レ ファン・ベルトの緩み、損傷
レ 冷却水の漏れ
レ メターリング・バルブの状態
レ プローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
レ ①燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
レ ①燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
レ ①チャコール・キャニスターの詰まり、損傷
レ 触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
レ 二次空気供給装置の機能
レ 排気ガス再循環装置の機能
レ 減速時排気ガス減少装置の機能
レ 一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態
● <b>駆動系</b>
レ ハンドルの操作具合
レ ハンドルの遊び、がた
レ ①ブレーキ・ペダルの遊び
レ ①ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板との隙間
レ ①ブレーキの効き具合
レ ①バーキング・ブレーキレバーの引きしき
レ ①バーキング・ブレーキの効き具合
レ クラッチ・ペダルの遊び
レ クラッチ・ペダルの切れたときの床板との隙間
レ クラッチの作用
レ ③シート・ベルト損傷、作用
レ ホーンの作用

● <b>内側の点検</b>
レ ワイパーの点火X
レ ウィンド・ウォッシャーの作用
レ デフロスターの作用
レ ハンドル・ロック装置の作用
● <b>外側の点検</b>
レ ①ホイール・アライメント
レ ブレーキ・マスター・シリンドラの機能、磨耗、損傷
レ ホイール・リリソフ・クランクキット交換部の緩み、損傷
レ ブレーキ・ホイール・ジョイントの緩み、損傷
レ ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、磨耗、損傷
レ ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
レ ブレーキ信号装置の油密、気密、チェック・バルブ、リーバルブの機能
レ ブレーキ・バルブ、クック・レリーズ・バルブ、リーバルブの機能
レ エア・タンクの凝水
レ エア・コンプレッサの機能
レ ブレッシャ・レギュレーター、アンローダ・バルブの機能
レ ブレーキ・ドラムとライニングとの緩み(X)
レ X ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの点火(X)
レ ブレーキ・ドラムの磨耗、点火(C)
レ ブレーキ・ディスク・パッドとの隙間
レ ブレーキ・パッドの磨耗
レ ブレーキ・ディスクの磨耗、損傷
レ センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
レ センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとの隙間
レ センタ・ブレーキのライニングの磨耗
レ センタ・ブレーキ・ドラムの磨耗、損傷
レ 二重安全ブレーキ機構の機能
レ A ⑤タイヤの空気圧A
レ ⑤タイヤの亀裂、損傷
レ ⑤タイヤの溝の深さ、異常磨耗
レ スペア・タイヤの空気圧
レ T ホイール・ナット、ホイールボルトの点火T
レ フロント・ホイール・ベアリングのがた
レ リア・ホイール・ベアリングのがた
レ リーフ・スプリングの損傷
レ リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付部の緩み、損傷
レ リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部のがた
レ コイル・サスペンションの取付部、連結部の緩み、がた
レ コイル・サスペンションの各部の損傷
レ ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ
● <b>下通り点検</b>
レ ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
レ ステアリング・ギヤ・ボックスの取付ロッド、アーム類の緩み、がた、損傷
レ ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷

保安基準に関するその他の主な点検整備項目及び依頼事項

- ▲ステアリング・ギヤボックスの機能
- ▲ナックル又はかじ取り車輪の旋回動作
- ▲リム・サイドリング又はホイール・ディスクの損傷
- ▲シャシばね又はショック・アブソーバの緩衝能力
- ▲トランスミッション、トランスファの変速又は動力分配機構の機能
- ▲原動機の運転状態

(▲印は特殊な使用状況並びに特殊な構造装置による点検項目を示す)

交換部品	数量
非常発煙筒	1個
ブレーキフルード	1ℓ
スパークプラグ	4個
R/ブレーキライニング	2個
R/ブレーキカッピング	1個
ワイパークリーナー	2本

注 生涯記録簿として長期間保存ください。なお、整備工場は指定整備記録簿となっておりますが、定期的に点検整備記録簿は一年間、分解整備記録簿は二年間携行保存することになりますが、

①印は大型特種自動車にあっては省略可能 ③印は人の運送に供する自動車レンタカー（乗用、軽）が対象 ⑤印は12ヶ月間あたり8,000km以下の走行距離によって省略できる項目。

②印は大型特種自動車に限る ④印は6ヶ月間あたり4,000km以下の走行距離によって省略可能

●CO、HC濃度  
(アイドリング時)  

CO	0.03 %
HC	60 ppm

●タイヤの溝の深さ (1.6mm 以上)  

前	左前	7 mm	右前	7 mm
輪	左後	mm	右後	mm
後	左前	mm	右前	mm
輪	左後	4.5 mm	右後	4.5 mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ  

前	左前	5.5 mm	右前	5.5 mm
輪	左後	mm	右後	mm
後	左前	mm	右前	mm
輪	左後	3 mm	右後	3 mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称・所在地・認証番号・指定番号	点検の年月日	整備主任者の氏名
<b>記録簿 DIRECTOR</b> 整備記録簿作成発行アプリケーションソフト PRISMASERVICE	平成28年5月20日	整備主任者1
整備完了年月日	点検(整備)時の総走行距離	
平成28年5月20日	66,785 km	

検査機器等による検査

制動力			前 照 灯		前 部 霧 灯		警 音 器	
前	右 前 軸	2400 N	軸重 ✓	左右差 160 N	取付 高 さ	右 すれ違い灯 76 cm	左 カットオフ・有 76 cm	テスタ x100 cd 103.5 デシベル
前	左 後 軸	2240 N	685 kg	0.24 N/kg	光 軸 (又 は 光 波 度 測 定 点 )	テスタ・下 7 cm	テスタ・下 7 km/h	速度計の誤差 定常走行騒音 聽感 良好 デシベル
前	右 後 軸	N	軸重 ✓	左右差 N	左・右 0 cm	左・右 0 cm	指示針の振れ テスタ km/h 91.5 デシベル	排 気 騒 音
後	右 前 軸	N	軸重 ✓	左右差 N	主×100 cd	主×100 cd	速度表示灯の誤差 C O	テスタ km/h 0.03 %
後	左 後 軸	N	N/kg	20 N	副×100 cd	副×100 cd	タイヤの振れ H C	400 ppm
計		7460 N	車両重量 1285 kg	5.80 N/kg	良	283 cd	サイド・スリップ 黒煙・粒子状物質 イン 1.9 mm	60 ppm
手動		3160 N		2.45 N/kg				
走行テスト等の方法と結果								

構 造	①	最低地上高	レ
	②	最大安定傾斜角度	レ
	③	最小回転半径	レ
装 置	①	原動機及び動力伝達装置	レ
	②	走行装置	レ
	③	操縦装置	レ
	④	制動装置	レ
	⑤	緩衝装置	レ
	⑥	燃料装置及び電気装置	レ
	⑦	車体及び車体	レ
	⑧	連結装置	レ
	⑨	乗車装置及び物品積載装置	レ
	⑩	前面ガラスその他の窓ガラス	レ
	⑪	騒音防止装置	レ
	⑫	ばい煙等の発散防止装置	レ
	⑬	灯火装置及び反射器	レ
	⑭	警報装置	レ
	⑮	指示装置	レ
	⑯	視野を確保する装置	レ
	⑰	走行距離計その他の計器	レ
	⑱	防火装置	レ
	⑲	内圧容器及びその付属装置	レ
	⑳	その他(運行記録計・速度表示装置等)	レ

自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

✓ 自動車の種別	✓ 用 途	✓ 自家用・事業用の別	✓
----------	-------	-------------	---

**指定整備記録簿  
(分解整備記録簿)**

点検 良好	レ	交換	×	省略	P
分解	○	修理	△	先送り	N
調整	A	清掃	C	該当無し	/
締付	T	給油 (水)	L		

使用者(依頼者)の氏名または名称および住所  
**記録簿製作所 株式会社**  
**記録簿県記録簿市整備1丁目2-3**

自動車登録番号又は車両番号 ✓  
 記録簿 400 た 6878  
 車台番号 ✓  
 S402M-0005523

点検の結果及び整備の概要

● <b>ブレーキ系統</b>
レ パワー・ステアリング・ベルトの緩み、損傷
レ パワー・ステアリング・オイルの漏れ
レ パワー・ステアリング・オイルの量
レ パワー・ステアリングの取付けの緩み
レ ブレーキ液の量
× クラッチ液の量
× ④スパーク・プラグの状態 (白金、イリジウムは省略可能)
レ 点火時期
レ ディストリビュータのキャップの状態
レ ハッテリのターミナル部の緩み、損傷、腐食
レ 電気配線の接続部の緩み、損傷
レ 低速、加速の状態
レ 排気ガスの色
レ CO、HCの濃度
× ④エア・クリーナ・エレメントの汚れ、詰まり、損傷
✓ ②エア・クリーナの油の汚れ及び量
レ 燃料漏れ
レ ファン・ベルトの緩み、損傷
レ 冷却水の漏れ
レ メターリング・バルブの状態
レ プローバイ・ガス還元装置の配管の損傷
①燃料蒸発ガス排出抑止装置の配管等の損傷
①燃料蒸発ガス排出抑止装置のチェック・バルブの機能
①チャコール・キャニスターの詰まり、損傷
触媒等の排出ガス減少装置の取付けの緩み、損傷
二次空気供給装置の機能
排気ガス再循環装置の機能
減速時排気ガス減少装置の機能
一酸化炭素等発散防止装置の配管の損傷、取付状態
● <b>燃費測定機器</b>
レ ハンドルの操作具合
レ ハンドルの遊び、がた
①ブレーキ・ペダルの遊び
①ブレーキ・ペダルの踏み込んだときの床板との隙間
①ブレーキの効き具合
①バーキング・ブレーキレバーの引きしき
①バーキング・ブレーキの効き具合
クラッチ・ペダルの遊び
クラッチ・ペダルの切れたときの床板との隙間
クラッチの作用
③シート・ベルト損傷、作用
ホーンの作用

● <b>内側の点検</b>
レ ワイパーの作用
レ ウィンド・ウォッシャーの作用
レ デフロスターの作用
レ ハンドル・ロック装置の作用
● <b>足回りの点検</b>
レ ①ホイール・ライメント
レ ブレーキ・マスター・シリンドラの機能、磨耗、損傷
レ ブレーキ・ホイール・シリンドラの機能、磨耗、損傷
レ ブレーキ・ディスク・キャリパの機能、磨耗、損傷
レ ブレーキ倍力装置のエア・クリーナの詰まり
レ ブレーキ倍力装置の油密、気密、チェック・バルブ、リーバルブの機能
レ ブレーキ・バルブ、クイック・リリーズ・バルブ、リーバルブの機能
レ エア・タンクの凝水
レ エア・コンプレッサの機能
レ ブレッシャ・レギュレーター、アンローダ・バルブの機能
レ ブレーキ・ドラムとライニングとの隙間
レ ブレーキ・シューの摺動部分、ライニングの磨耗
レ ブレーキ・ドラムの磨耗、損傷
レ ブレーキ・ディスク・パッドとの隙間
レ ブレーキ・パッドの磨耗
レ ブレーキ・ディスクの磨耗、損傷
レ センタ・ブレーキ・ドラムの取付けの緩み
レ センタ・ブレーキ・ドラムとライニングとの隙間
レ センタ・ブレーキのライニングの磨耗
レ センタ・ブレーキ・ドラムの磨耗、損傷
レ 二重安全ブレーキ機構の機能
レ ⑤タイヤの空気圧
レ ⑥タイヤの亀裂、損傷
レ ⑦タイヤの溝の深さ、異常磨耗
レ スペア・タイヤの空気圧
レ ホイール・ナット、ホイールボルトの緩み
レ フロント・ホイール・ベアリングの緩み
レ リア・ホイール・ベアリングの緩み
レ リーフ・スプリングの損傷
レ リーフ・スプリング、スプリング・ブラケットの取付け部の緩み、損傷
レ リーフ・スプリング、トルク・ロッドの連結部の緩み
レ コイル・サスペンションの取付け部、連結部の緩み、がた
レ コイル・サスペンションの各部の損傷
レ ショック・アブソーバの損傷、オイルの漏れ
● <b>下廻りの点検</b>
レ ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
レ ステアリング・ギヤ・ボックスの取付けの緩み
レ ロッド、アーム類のボール・ジョイントのダスト・ブーツの亀裂、損傷

保安基準に関するその他の主な点検整備項目及び依頼事項
▲ステアリング・ギヤボックスの機能
▲ナックル又はかじ取り車輪の旋回動作
▲リム・サイドリング又はホイール・ディスクの損傷
▲シャシばね又はショック・アブソーバの緩衝能力
▲トランスマッシャン、トランスマッシャンの変速又は動力分配機構の機能
▲原動機の運転状態

(▲印は特殊な使用状況並びに特殊な構造装置による点検項目を示す)	
交換部品	数量
非常発煙筒	1個
ブレーキフルード	1ℓ
スパークプラグ	4個
R/ブレーキライニング	2個
R/ブレーキカップキット	1個
ワイパークリード	2本

注 生涯記録簿として長期間保存ください。なお、整備工場は指定整備記録簿となっておりますが、2年間保存。

①印は大型特種自動車にあっては省略可能 ③印は人の運送に供する自動車レンタカー（乗用、軽）が対象 ⑤印は12ヶ月間あたり8,000km以下の走行距離によって省略できる項目。

②印は大型特種自動車に限る ④印は6ヶ月間あたり4,000km以下の走行距離によって省略可能

●CO、HC濃度  
(アイドリング時)

●タイヤの溝の深さ (1.6mm 以上)			
前 前	右	7 mm	右前
前 軸	左	mm	7 mm
後 軸	左	mm	mm

●ブレーキ・パッド、ライニングの厚さ			
前	左前	5.5 mm	右前
後	左後	mm	5.5 mm
後	左前	mm	mm

自動車分解整備事業者の氏名又は名称・所在地・認証番号・指定番号	点検の年月日	整備主任者の氏名
<b>記録簿 DIRECTOR</b> 整備記録簿作成発行アプリケーションソフト PRISMASERVICE	平成28年5月20日	整備主任者1
整備完了年月日	点検(整備)時の総走行距離	
平成28年5月20日	66,785	km

検査機器等による検査

制動力			前 照 灯		前 部 霧 灯		警 音 器	
前 前	右	2400 N	軸重 ✓	左右差 160 N	取付高さ	右 76 cm	左 76 cm	テスタ x100 cd 103.5 デシベル
前 軸	左	2240 N	685 kg	0.24 N/kg	光軸 +	すれ違い灯 カットオフ・有	速度計の誤差	定常走行騒音
前 軸	右	N	軸重 ✓	N	光軸	テスタ・下 7 km/h	テスタ・下 7 km/h	聴感 良好 デシベル
前 軸	左	N	N	N/kg	左・右 0 cm	左・右 0 cm	指示針の振れ	排気騒音
後 軸	右	N	N	N/kg	主x100	主x100	テスタ	テスタ
後 軸	左	N	N	N/kg	副x100	副x100	91.5 km/h	91.5 km/h
計		7460 N	車両重量	5.80 N/kg	光度	133 cd	4∞ cd	0.03 %
手動		3160 N		2.45 N/kg		283 cd	60 ppm	H C
走行テスト等の方法と結果								サイド・スリップ 黒煙・粒子状物質 イン 1.9 mm %

構 ① 最低地上高 ② 最大安定傾斜角度 ③ 最小回転半径	レ
	レ
	レ
装 ① 原動機及び動力伝達装置 ② 走行装置 ③ 操縦装置 ④ 制動装置 ⑤ 緩衝装置 ⑥ 燃料装置及び電気装置 ⑦ 車体及び車体 ⑧ 連結装置 ⑨ 乗車装置及び物品積載装置 ⑩ 前面ガラスその他の窓ガラス ⑪ 騒音防止装置 ⑫ ばい煙等の発散防止装置 ⑬ 灯火装置及び反射器 ⑭ 警報装置 ⑮ 指示装置 ⑯ 視野を確保する装置 ⑰ 走行距離計その他の計器 ⑱ 防火装置 ⑲ 内圧容器及びその付属装置 ⑳ その他 (運行記録計・速度表示装置等)	レ
置	レ
レ	レ

自動車検査証、登録識別情報等通知書又は自動車検査証返納証明書の記載事項との照合

✓ 自動車の種別	✓ 用 途	✓ 自家用・事業用の別	✓ 車体の形状	✓ 車 名	✓ 型 式	✓ 乗 車 定 員	✓ 最 大 荷 載 量	その他
小型	貨物	自家用	バン	トヨタ	ABF-S402M	( 5 人 )	( 500 kg )	
✓ 車両重量	✓ 車両総重量	✓ 原動機の型式	✓ 長 さ	✓ 幅</				